

## ひろ 弘の夕市

(上)「脂がのっておいしいよ」  
(下)「売る直前まで魚は海で泳がせておきます」



志賀島を訪れたらぜひ立ち寄りたのが弘の夕市です。志賀島沖で捕れる新鮮な魚やアワビ、サザエなどを市価よりも安く買うことができます。

なぜ夕市? 市漁業協同組合弘支所の松田清隆支所長(56)が「ゆっくりできる土曜日の夕食に鮮度のいい魚を食べてほしかった」と13年前からこの時間帯で始めた理由を教えてくださいました。漁師さんたちの優しさを感じながら買い物を楽しんでみては。

**data** 第2・第4土曜日午後2時~4時(5月~11月)。バス停「弘」前。志賀島入口から車で4分。駐車場あり。☎同支所 603-6611



## 志賀島橋が新しくなります

海の中道から志賀島に抜ける通りでは、北に波が荒い玄界灘、南に静かな博多湾という対照的な風景を楽しみながらドライブできます。満潮時に道が海中に消えるため道切(みちきり)と呼ばれる場所に志賀島橋が架かったのは昭和6年のことです。

区は橋の老朽化に伴い、平成23年春の完成を目標に、同じ場所に新しい橋の建設を進めています。志賀島校区自治協議会前会長の小林孝さん(71)は「島民に無くてはならない橋。子どものころは自転車の練習などでよく遊んだ」と話します。思い出深い橋だけに「景観を楽しみながら歩ける橋になれば」と期待もひとしおです。

☎東区地域整備課 645-1052



旧橋の解体前には「75年間お疲れ様でした」とその労がねぎらわれました(今年1月)。現在は仮の橋を通して島に渡れます



# 海辺の風景

海に出掛けると波の音や潮風が心地よい季節です。東区は北と西を海に囲まれ、海を身近に感じられる場所。海辺に親しむ空間づくりも進んでいます。少し足を延ばして、いつもと違う風景を探してみませんか。

## 香椎パークポート

博多港には、世界43(7月1日現在)の港からコンテナ(物をまとめて運ぶ大きな鉄の箱)を積んだ船が行き来しています。

香椎パークポートコンテナターミナルは、船とトレーラーの間でコンテナが安全に受け渡されるまで保管する場所で、市から施設を借り受けた博多港ふ頭(株)が管理運営をしています。

同社のコントロールセンターで働く松本珠美さん(25)は、その受け渡し作業を指示する仕事をしています。「いかに効率よく運べるようにするかが腕の見せどころ」と話します。同港のコンテナの取扱い数が10年前の2倍以上に増加し、1日平均1200個のコンテナの移動を指示する忙しい毎日ですが「時間があれば外国の港を見て回りたい」と夢を語ります。



「キリンのようなガントリークレーンが首を下げている時は船からコンテナを揚げ積みしている時。運転手さんは高さ40mの場所で操縦しているんですよ」と松本さん

## 生まれ変わる海岸線



現在、市は香椎副都心などの市街地とアイランドシティを結ぶ「海浜プロムナード(人道橋)」の計画を進めています。長さ約400m、幅5mの橋は、景色の変化を楽しめるようS字型を描く予定。完成すれば一帯をぐるっと回る1周約3kmの遊歩道ができます。これは大濠公園の園路の1.5倍の長さに当たります。

橋の検討メンバーの1人、区自治組織等連絡協議会の青木武(たけし)会長(80)は「健康づくりのウォーキングには絶好のコース。誰もが安全に歩けるような橋にしたい」と完成を楽しみにしています。

本年度から現地調査を行い、来年度



潮風を感じながら海辺を散策(イメージ)

以降に工事着手。工事期間は3~4年を見込んでいます。☎港湾局事業計画課 711-4125

## 名島海岸が変わりました



名島海岸(写真)の整備が3月に完了しました。名島神社や国の天然記念物「帆柱石」などの歴史的資源との調和を大事に、海に親しむ環境づくりが行われています。

### 海の話あれこれ

- その1 区内の海水浴場は、勝馬(バス停「勝馬口」すぐ)、休暇村志賀島(バス停「休暇村志賀島」すぐ)、志賀島(バス停「志賀島」すぐ)。市が5月に行った水質検査では、いずれも「AA」もしくは「A」の高い評価を受けました。
- その2 海の中道一帯の海岸は、国土交通省などが選ぶ「日本の渚・百選」に市で唯一選ばれています。
- その3 奈多海岸は、はだして歩くとキュッキュッと砂が鳴る全国でも珍しい「鳴き砂」の浜として有名です。